

令和元年度（2019年度）熊本市児童館運営審議会 議事録

【開催日時】令和元年（2019年）8月29日（木）14：00～16：00

【開催場所】熊本市清水公民館 ホール

【出席者】

児童館運営審議会委員

事務局

竹下 徹 委員

子ども未来部長 興梠 研一

中村 光伴 委員

○児童館長

竹内 博 委員

中央区 西原公園児童館 遠藤館長

小川 英聖 委員

東 区 託 麻 児 童 館 北里館長

伊藤 大介 委員

〃 秋 津 児 童 館 小島館長

田上 勝幸 委員

〃 東 部 児 童 館 藤川館長

福田 衣都子 委員

西 区 西 部 児 童 館 松永館長

日高 加寿美 委員

〃 花 園 児 童 館 馬原館長

川本 浩右 委員

南 区 幸 田 児 童 館 山田館長

富田 昌枝 委員

〃 南 部 児 童 館 菊地館長

奥村 栄子 委員

北 区 清 水 児 童 館 田端館長

高木 朝子 委員

〃 龍 田 児 童 館 福田館長

以上 12名

○子ども支援課

課長 松井 誠

主査 大塚 真五

以上 13人

【会議資料】 ・令和元年度（2019年度）熊本市児童館運営審議会資料

・（別冊1）平成30年度（2018年度）児童館活動報告

・（別冊2）令和元年度（2019年度）児童館利用者アンケート結果

・参考資料（児童館・児童室の利用案内、児童館だより9月号）

発言者	発言要旨
【開会】	
【委嘱状交付】	
【子ども未来部長挨拶】	
【委員・職員紹介】	
【委員長及び職務代理者の選出】	
【清水児童館の視察】	
【審議案件（１）】平成 30 年度（2018 年度）事業報告・利用状況 について 【審議案件（２）】令和元年度（2019 年度）運営方針及び事業計画 について	
事務局	（平成 30 年度（2018 年度）の児童館の事業報告及び利用状況の説明）
事務局	（令和元年度（2019 年度）の運営方針及び事業計画の説明）
委員長	5 ページの清水児童館の平成 30 年度の利用者数が、平成 29 年度と比べて 79.4% と減少している要因は何か。
事務局	<p>利用者が減っている、主な要因は 2 つ。</p> <p>1 つは、平成 29 年度に実施していた母親クラブ主催の夏祭りについて、平成 30 年度は実施していないこと。この夏祭りは例年かなりの利用者があったが、平成 30 年度は実施できなかった。</p> <p>もう 1 つは、平成 30 年度は 11 月に市長選挙があり、約 2 週間にわたり児童館のプレイルームが期日前投票所になり、プレイルームの利用ができなかったこと。この点については、その後に北区選挙管理委員会と協議し、今年度より期日前投票所をプレイルームから図工集会室に変更してもらい、児童館がメインで使用しているプレイルームは使えるように対応している。</p> <p>ただし、選挙がダブル選挙等になり、図工集会室では投票所のレイアウトに対応できないときには、従来通りプレイルームが期日前投票所になることもあると考えている。</p>

	<p>以上の理由により、平成 30 年度は平成 29 年度と比べて利用者数はかなり減っている。</p>
委員長	<p>そのような状況の中で、創意工夫をされているのが、よく分かった。</p> <p>もう 1 つ、保育所や子ども園など地域子育て支援の部分では、ずっと同じ方々が利用していて、新規の方々が利用するときにグループが出来上がっていて、それにより利用の足が遠のいてしまうという声を聞く。児童館の利用者については、固定の利用者が多いのか、新規で利用される方もいるのか、児童館の状況を伺いたい。</p>
事務局	<p>幸田児童館の場合は、南区にあり新興住宅地があるので、初めて利用される親子も頻繁に来る。公務員宿舎もあり、引っ越していかれる方も新たに来られる方も多い状況である。</p>
事務局	<p>西部児童館は、母親クラブ主催の行事が多数ある。今日も、ボディペインティングを行った。母親クラブ主催だが、広報を行い母親クラブの会員以外も参加できる体制ができています。参加された方が、来年度の母親クラブへの加入を検討されるなど、新しい利用者も増えている。</p>
事務局	<p>東部児童館については、固定された利用者も多いが、今の時期は新規の利用者も多い。8月25日現在で、幼児は1,278名の登録がある。内訳は、最も多い尾ノ上小校区が150名、健軍小校区が122名、泉ヶ丘小校区が22名、東町小校区が95名、健軍東小校区が53名、月出小校区が47名、山ノ内小校区が72名、画図小校区が41名、その他が572名となっている。熊本市外の方も104名の登録があっている。小学生まで含むと、2,132名の登録があっている。</p>
委員	<p>各児童館で様々な講座をしているが、指導されるのは外部の方かと思う。これは完全なボランティアでしているのか。絵画や書道についても、職員が行っているのか。</p>
事務局	<p>外部の講師に依頼をして行っている。講師料については、市の基準額で支払いを行っている。</p>
委員	<p>22Pの予算書では、どの項目が該当するのか。</p>

事務局	予算の項目は「報償費」となる。
委員	では、予算書の中で「委員等報酬」とはどのような意味なのか。 各児童館に「委員」がいるのか。
事務局	「委員等報酬」とは各児童館に配置している児童厚生員の給与である。
委員	児童厚生員とは何か。
事務局	先ほど視察した児童館にいた非常勤職員である保育士が児童厚生員となる。
委員	非常勤で仕事をして、それが「委員」という名称なのか。
事務局	児童厚生員が「委員」というのではなく、非常勤職員の給与は予算上「委員等報酬」という項目に該当し、そこから給与を支払っている。
委員	外部から見ると非常に分かりにくい費目の分け方に思う。 先ほどの外部の講師の報償費については、公民館の自主講座についても同様に依頼を受けたことがあるので分かったが、今後は報償費が増える可能性があるのではないか。その場合、予算も限られているので出来ないものも出てくるのではないか。
事務局	報償費の増減の可能性はあるが、基本的には現状維持になると思われる。ただし、年度により変動が生じる可能性はある。
委員	講師の先生の選定については、子ども対象なので、誰でもいいというものではなく、選考基準があると思う。子どもの為になるもの、子どもへの理解があり子どもが喜んで参加するような講師の選考をお願いしたい。
【審議案件(3)】各児童館からの報告	
事務局	(平成30年度(2018年度)の各児童館の活動について報告)
【審議案件(4)】児童館利用者アンケートの実施結果について	
事務局	(令和元年度(2019年度)児童館利用者アンケートの結果を説明)
委員	アンケートの7Pに児童館に伝えたいことで「中学生でも遊びに来たい」という意見が書いてある。視察した児童館の状況や各児童館の利用状況から児童については、小学生以下を対象にしていると思っていたが、国の児童館ガイドラインには、目的

	<p>に「18歳以下のすべての子どもを対象とする」とある。国のガイドラインと実際に運営をしている地方の考え方や実態が相違しているが、今後どのような運営を考えているのか。</p>
事務局	<p>国のガイドラインでは、高校生までを利用の対象とし、小学生との交流等について記載があり国の方向性が示してあるが、現在の熊本市の児童館は、30年以上前に設置したものが多く、中高生と一緒に遊ぶのは難しい施設になっている。中高生が利用可能な音楽ができる部屋等の施設があれば良いと思うが、現在のところ小学生までを基本に考えている。今後、中高生と小学生たちが交流できるようなイベント等、あるいは、児童館と公民館が併設しているので、公民館と連携して中高生と一緒に出来る活動がないかと考えている。ただ、現状は現施設のままで中高生が児童館と一緒に利用するのは難しい。</p>
委員	<p>地方として、「ガイドラインが実態にそぐわない」、「児童館という名称が中高生を対象としているという印象を持たれない」等のガイドラインの内容についても国に意見を言っても良いと思うので、その点も含めて検討をお願いしたい。</p>
委員	<p>活動報告書について、子どもの写真が載っているので持ち出し禁止となっているが、活動の様子はおよそ想像ができるので、写真の掲載がないものを事前にもらって、審議会の中で活動の内容について質問したい。</p> <p>例えば、南部児童館の芋ほり遠足に「近隣の高校に芋ほり遠足に行きました。」と記載があるが、私たちは「近隣の高校はどこの高校か」と疑問を持つ。「高校生とのふれあいも楽しみました。」と書いてあり、非常に良い活動なので近隣の高校名が記載してあっても良いと思う。このあたりを記載して、事前に配布してもらいたい。</p>
事務局	<p>各児童館で様々な活動をしているので、写真の掲載がないものを委員の方に配布しても良いと思う。来年度は、写真を除いたものを事前に配布したい。</p>
委員	<p>地域と連携して様々な取り組みをし、ユニークなものもあり非常に良いと思う。昨今、子ども達や家庭を取り巻く環境が変わっている中で、行事をみると偏っている。プログラミング等が小学校でも始まり、子どもたちの関心や親の不安も大きく</p>

	<p>変わってきている。予算や指導者の問題もあるが、情報機器や情報倫理に関する新しい取り組みは、積極的に行われていないようだ。</p> <p>子どもを育てる親のほうもネットとの向き合い方やスマホとの向き合い方が分からない中で、子どもをどう守っていくのか、という視点を含めた講演や講習の実施、また可能であればアンケートでも回答のあったプログラミングの講座など、今後の児童館の活動を更に広げてほしい。</p>
事務局	<p>職員研修の項目の中で報告しましたが、毎月 1 回の担当者会議を行っており、各児童館の担当職員が集まりますので、その中で本日のご意見については情報共有をして検討したい。</p>
委員	<p>アンケートは何のために行っているのか。</p> <p>このアンケートの結果が各児童館で活用されていることもあるかと思う。考察や、活かされた点、運営に結び付いた点が記載されていると、各児童館が工夫された点が分かりやすい。</p>
事務局	<p>アンケートの結果を基に、各児童館で改善すべき点は改善に努め、良いアイデアについては事業に取り入れている。来年は、いただいたご意見を参考に改善した点を報告したい。今回は、いただいたご意見を受け改善した点についての報告はしておりませんが、来年度は整理して報告したい。</p>
委員	<p>資料については、昨年度に比べたら非常に分かりやすく、多角的になっている。活動報告書も統一されて見やすくなった。</p>
委員長	<p>今回様々な意見が出ましたが、その意見を生かして次年度の児童館運営の改善に努めていただきたい。</p> <p>アンケートについては、改善につなげるような各委員の皆様からご指摘がありましたが、利用者の 92% が楽しいと回答するなど、各児童館の職員のたゆまない努力により、このような素晴らしいアンケート結果が出ているのではないかと。特に各児童館の取り組みを見ると、地域と繋がって地域の良さを生かしながら行っている。秋津児童館の伝承遊びの報告を聞きましたが、子ども達だけの利益ではなく、子ど</p>

もと高齢者が関わることで高齢者の生きがいに繋がるという報告があっている。地域の課題も確認しながら児童館の運営の取り組みにつなげていることを聞いて、感心している。

本日各委員の皆様から頂いた意見を整理するので、次年度につなげていただきたい。

まず、子どもを中心に据えた、あるいは保護者の意見を取り入れた次年度の講師の選定。

次に、中高生を対象にした取り組みができないかという意見。

別冊 1 の各児童館の活動報告書については、写真を抜き事前配布をおねがしいたい。

講座の内容については、最新の子育て家庭の不安や子どもたちの発達状況を見据えたときに、旬なもの、例えば情報機器の活用等に関する講座や講和の実施についても意見が出たので、よろしくお願ひしたい。

また、児童虐待の報道では、虐待のハイリスク要因は母親の子育てストレスと報告されているが、父親が子育てに協力、理解があるかどうか、リスクの大きさに関係があるとあった。せっかく土日開館しているので、父親も巻き込みながら子育てに関心を持つような仕掛け作りや活動を取り入れた運営につなげられたら良いと思う。

今年度は、今回限りになると思われるが、審議会当日に限らず、今後も協力するので、より良い児童館の運営、活動につなげて欲しい。また、明日からも子どもたちを中心に据え、充実した児童館運営をお願ひしたい。

【議事終了】

【閉会】